



すずしろ

～開拓・発展・完成～

6月 第3号

令和3年6月7日

開進第四中学校だより

校長 児島 泰彦

天候が良く、汗ばむ日の中に梅雨の兆しを感じるようになってきました。そのような中、運動会の練習や準備の日はほぼすべて晴れ、短期間で順調に進めることができました。生徒達はどの学年も生き生きと取り組んでいました。

<朝礼の話>

5月29日に行われた運動会は、緊急事態宣言の中での実施であり、内容も時間も見直しを図って行われました。このような状況の中でも、皆さんが体を動かすことの楽しさを感じながら行うことができ、中学校での行事がいかに大切かを感じることができました。特に3年生は1、2年生の見本となる3年間の成長した姿がありました。また、昨年度でできなかった分も含めて2年分の思いがこもっていました。1、2年生は初めての運動会ということもあり、フレッシュな気持ちで参加することができました。また、声を出さずに拍手で応援したり友達と一定の距離を保ちながら接するなど、全員がしっかり意識をしながら活動する姿は大変立派でした。保護者の皆様にお見せすることはできませんでしたが、7月の保護者会において映像をお見せできればと考えています。

さて、皆さんは「知・徳・体」という言葉を1度は聞いたことがあると思います。「知」とは、日々の学習活動にしっかり取り組み学力を身に付けること。「徳」とは、多くの友達や先生方と生活する中で豊かな人間性を養うこと。「体」とは、身体を鍛え、心身ともに健やかで健康になることだと思います。この「知・徳・体」の「知」だけとか「徳」だけとか、何か一つだけでも磨きをかけるということも、もちろんあるとは思いますが、将来的に社会に貢献できる成人になるためには、この3つのことが互いに関連し合いながらバランスよく取り入れることが大切になってきます。中学生のこの時期は、大人になるための準備期間として不安定な時期とも言えます。日々の学校生活の中、様々なことを経験していく中で少しずつ確実に学んでいくことが大切です。そのように考えると、学校は学力を身に付けるために勉強するだけの場所ではないと言えるということがわかんと思います。今回の運動会に向けた取組の中で、友達や先生方とのつながりの中で、時にはぶつかりながら、そして悩み、一緒に解決しながら成長することがとても貴重な体験となっていきます。この思いがあるからこそ、本番で完全燃焼し、やり遂げたという達成感や満足感を得ることができるのです。さらに、日々の練習の中で鍛えた体力やあきらめずに頑張ろうとする精神力は、これからの学校生活に役立つものになるでしょう。

気が付いてみると、10日後には第1回の定期テストが行われます。今度は「知」の場面ですね。日頃の学習の成果を大いに発揮する時です。学校での学習活動はもちろんのこと、定期テストに向けた家庭学習の充実が重要になります。もうすでに始めていると思いますが、余裕をもった計画を立てて着実に進めていけるよう頑張ってください。

「知・徳・体」をバランスよく身に付けていきましょう。

運 動 会

昨年度の臨時休業期間以降、授業の遅れは夏休みの短縮や土曜授業の時数増加などで年度末までに補うことができました。そのような中で、子供達にとって学校という場所は、みんなで共に過ごし、お互いに関わりながら多くのことに取り組むことが必要不可欠であると改めて言われました。しかし、運動会や修学旅行など、多くの行事を実施することができませんでした。

今年度の運動会は、生徒のために何とか実施できないか考え、多くの工夫をしながら実施いたしました。運動会の準備の時間の短い中、生徒はととてもよく活動して進めました。特に上級生は、下級生のお手本になるような姿が見られました。競技は、各種目、生徒同士の接触等がないものを考え行いました。

生徒達は、学年種目や全員リレーの取り組みで、各学級ごとに知恵を絞り、協力しながら練習し、始めのころより、桁違いに上手になっていきました。また、勝つためだけではなく、学級全員が関わりながら楽しんで取り組めるように練習を進めるなど、よりよい生徒同士の関わりがありました。

今回の運動会で、生徒は仲間達との関係を深め、多くのことを学び、成長できました。これからも、生徒達が、現状で可能な限り多くのことを経験できるよう教育活動を進めて参りますので、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。なお、生徒達の運動会での活躍は、学年保護者会でビデオをご覧いただく予定です。

